

「タンポポ調査・西日本2010調査報告書」正誤表

ページ	行	誤(下線部)	正(下線部:太字)
14	下から4行目	(写真右、2倍体の在来種)	(写真左、2倍体の在来種)
14	下から3行目	「バラバラ」(写真左)	「バラバラ」(写真右)
18	11行目	セイヨウタンポポとその雑種(d1)	セイヨウタンポポとその雑種(D1)
18	12行目	アカミタンポポとその雑種(d2)	アカミタンポポとその雑種(D2)
21	1行目	「A6 オキタンポポ」の凡例	<凡例を写真の上に移動させる>
21	最終行	3行脱落	には角状突起はほとんどない。Morita (1995)はクシバタンポポ(後述)と同種としているが、明らかな別種である(芹沢2006)。明瞭な角状突起をもつものはケンサキタンポポとされるが、芹沢(2006)は同種として扱っている。
22	16行目	の観察する……	筆者の観察する……
22	20行目	報告のみ分布を示す。	報告されたもののみ分布を示す。
22	20行目	京都府・兵庫県にはも	京都府・兵庫県にも
23	下から4行分	下から4行目から最終行まで重複	削除
32	6行目	……路傍・分離帯、	……路傍・分離帯である。
33	1行目	タイプ5であるが、	タイプ5であり、
33	13行目	これらのついて	これらについて
33	14行目	種判断で	種を判断で
33	15行目	ものを20%程度含まれるか、	ものを20%程度含むが、
35	14行目	個体の密度は小さい。	個体の密度は大きくない。
40	最終行	在来二倍体タンポポがほとんどい	在来二倍体タンポポがほとんど分布しない地域(九州、山陰、四国南西部)にも多くの雑種が見られた(図3-3-1)。
41	10行目	マクロサテライト	マイクロサテライト
42	図3-3-5	アカミ型雑	アカミ型雑種
42	図3-3-6	雄核単為生雑種殖	雄核単為生殖雑種
49	下から8行目	種	タネ(瘦果)
57	1行目	小は手間でも	手間でも
67	下から13行目	人口密度も高いでの	人口密度も高い地域での
71	7行目	苦勞の多い調査おいて	苦勞の多い調査において
90	1行目	……本調査ではデータを採	……本調査ではデータを採用
97	図3	<見出し脱落>	DinoLite Pro 500x で撮影したカンサイタンポポ(左)、セイヨウタンポポ(右)の花粉
105	1行目	は有効調査票数である)。	全調査件数は7853件であり、19府県では岡山県8319件、香川県の8276件について多い(件数とは有効調査票数である)。
116	下から3行目	8.9%	8.9%
117	5行目	(24.7%)(73.5%)(1.8%)	(24.7%)(73.5%)(1.8%)
130	15行目	巨大タイポポ	巨大タンポポ